

大網ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin



- クラブ創立：2000年1月13日
- 例会日：毎週水曜日（12：30～13：30）
- 例会場：中部コミュニティセンター TEL0475-73-3337 FAX73-4360
- 事務所：〒299-3251 大網白里町大網450-6 ユアサビル2階 TEL0475-70-0200
- 会長：矢部 慎一 幹事：星野 実
- 広報公共イメージ向上委員会 委員長 石田 英世



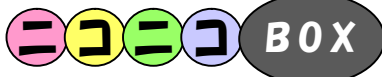
2019年9月25日(水)

通巻第917号

<http://www.oamirotary.com>
E-mail rc@oamirotary.com



点 鐘 会長 矢部 慎一
ソング 我等の生業
会長挨拶 会長 矢部 慎一
幹事報告 幹事 星野 実
プログラム
卓 話
大網白里市出前講座 企画政策課
「総合計画について」



第7グループ ガバナー補佐 堤様
補佐幹事 高橋敬彦様

星野幹事
遅れて来ても、あたたかく迎えてくれる皆様にニコニコです。

例会日	9月18日	9月4日
会員数	29	29
出席	20	20
欠席	9	9
MU	0	2
免除	1	0
出席率	72.41	75.86

会長挨拶



矢部 慎一 会長

本日は、堤ガバナー補佐、高橋補佐幹事にお越し頂き誠に有難うございます。本日は宜しくお願ひ致します。

さて、先週の月曜日未明に千葉県をおそい、甚大な被害をもたらした台風15号は、当会の例会も中止せざるを得ない状態になりました。

最初は小さい台風だと思って少し油断していたことは否定出来ません。早々と翌朝の電車が止まると聞いて、少し警戒しすぎではないかと思ってしまうました。

日曜日の夕食時間も静かで本当に来るのかと高をくくっていたのであります。ところが夜中2時過ぎ頃から風雨が強まって来て、3時を過ぎた頃からはサッシのガラスが割れるんじゃないかと思ってとても寝ているどころではなくなってしまいました。我が家の玄関は引き戸なのですが、合わさった上の隙間からホースで水を入口に圧力をかけて放水している様な状態です。南側に面した所と玄関と洋間は、水浸しになりました。あの状態は雨漏りではないと思っています。超高圧の水が家の中に流入し、さげられない状態であったと思います。その後、停電、断水と続き、普段の生活の大切さを、有難さを実感させられました。幸い我が家は、水は水曜日、電気は木曜日に元通りになりましたが、大網白里市内でもまだ電気の来ない所もあるようですし、安房、市原地方、多古や緑区、山武市等の被害は甚大であります。一日も早く普通の暮らしに戻ることを心よりお祈りして会長あいさつとします。

堤ガバナー補佐挨拶



【ガバナー補佐事前訪問について】

本日は、ガバナー公式訪問のための事前訪問にまいりました。会員の皆様方の台風被害はいかがででしょうか？

台風15号の被害状況は、2日前に鋸南町～館山市方面を訪問し拝見してまいりました。風により屋根瓦が飛び、窓ガラスの破損や建物の被害、看板等多くの建物の被害が有りました。また、当初はこの様な被害が生じているとは思わなかったのか、千葉県の初動の遅れ、9月1日には、9都県総合防災訓練を主催した県として、対応の遅れがあったように思われました。皆様方の一日でも早く復旧されることをご祈念いたします。

さて、昨年から、ガバナー補佐エレクトとして、これまで、補佐会議が8回、2日間に渡った会長エレクト研修セミナー、地区協議会等に出席し、諸岡ガバナーの方針や地区運営の考え方などについてお話ししたいと思います。

令和の最初のロータリー年度が始まりました。平成の30年間は、歴史上大きな転換点となる時をいくつも越えて来たように思われます。

「コーディネーターニュース 2019 年 10 月号」

世間の方々へポリオデーを皆でアピールしよう！

10月24日が世界ポリオデーであることは多くのロータリアンはご承知のことだと思います。ポリオの安全で効果のあるワクチンを開発（1955年）したジョナス・ソーク博士の誕生日をもって10月24日が世界ポリオデーに定められました。

RIは世界ポリオデーのイベントとして各クラブに以下の4つをお願いしています。

1. イベントの開催
2. 特別プログラムのビューイング会
3. 「ポリオをなくそう」の広告作成

ブランドリソースセンターにテンプレートが用意されています

4. ソーシャルメディアで拡散する

クラブが開催するイベントは <https://endpol.io/reg-ja> から登録なさって下さい。

上記の1~4は、クラブで10月24日にロータリーデー、スポーツイベント、チャリティコンサート、街頭募金などのイベント、地域のお祭りへの参加などを企画し、そのイベントを「ポリオをなくそう」の統一広告で地元へ周知し、ソーシャルメディアを使って拡散することをお勧めしています。RIが各クラブに1~4を呼びかけています。

特別ビューイング会は日本時間の夕方にフェイスブックで世界ポリオデーの特別プログラムを配信するので、多くの人々に参加するよう呼びかけています。日本語のフェイスブック

(www.facebook.com/rotaryjapan) から参加予定をお知らせ下さい。

従来は「ポリオ撲滅」と表現していましたが、今年度からは「ポリオ根絶」と表現していますのでご注意ください。

第1地域ロータリー公共イメージ
コーディネーター補佐 井原 實

世界的には1989年、平成元年11月、ベルリンの壁が崩れ東西冷戦は終結しましたが、その後、思ってもみなかった、全く違う政治的、社会状況が現われてきました。

世界情勢も身近な社会の状況にも、格差と対決、そして分断が進んでおり、国内では1990年、平成2年、株価大暴落に端を発した金融危機、バブル崩壊や産業再編に至る未曾有のデフレ局面、「アベノミクス」という政府と日銀の金融・財政総動員政策の基に、経済成長が復活した局面、湯水のごとく市場にマネーを投じて思い通りに経済も社会も浮上しない今の局面と、混沌がなおも続いております。

1995年、平成7年1月、阪神・淡路大震災から新潟県での中越地震、東日本大震災、熊本地震、平成30年の北海道胆振東部地震、最近の異常気象による豪雨災害をはじめとした自然災害が全国各地で多くの犠牲者を出しました。

少子高齢化社会、働き方改革が叫ばれておりますが、うまく適応できず、人手不足は深刻さを増しております。見えないところで、地域社会の空洞化が進んでおります。ロータリーを巡る状況にも、それらの出来事は大きな影を落としております。

RI マローニー会長は先の国際協議会で、会員増強が直近20年間で足踏みを続けてきていることに強い危機感を表明しております。かつてないほどに分断されている世界を再び結び付ける力は「ロータリー」にこそあります。

ROTARY CONNECTS THE WORLD! 「ロータリーは世界をつなぐ」

その役割を担うのは私たちロータリアンです。

世界で比類なき基盤を有するロータリーを通じて、人類のすばらしい多様性につながり、奉仕と友情を通じて世界の人々とつながり、ロータリーを成長させ、新しい会員モデルをつくり、入会への新しい道を開き、新しいニーズにかなうロータリークラブとローターアクトクラブをつくりましょう。これがマーク・ダニエル・マローニー会長の念願です。

諸岡ガバナーからは、会長はクラブで直接対話をされるので、その機会を大切にいただき、例会、クラブの各会議、そしてクラブの事業、親睦活動や奉仕活動、或いは、クラブ内での協議の場での、お話しする機会を大切にいただきたいと思います。

特に例会では会長の時間の中でクラブの方々に語りかけていただき、その中で、特にお願いしたいのはロータリーの月間テーマであります。

また、その時々々のロータリーの最新情報を、今の最新情報であれば、規定審議会でしょう。規定審議会は、3年に一度のロータリー・クラブのそれぞれの定款に影響のある項目を審議することです。山田パストガバナーがアメリカからお帰りになり、これは7月30日に報告会が行われました。どの様な時期から反映させていくか？という課題もありますが、これについては、山田パストガバナーを中心に検討し、また、国際ロータリーの日本支部からも情報が整理されてくると思います。それが整理された段階でできるだけ早く各クラブにご連絡をさせていただくことを考えております。そのことについてご質問、お問い合わせがございましたらガバナー事務所を通してご質問いただきたいと思います。

ロータリーの情報について、ロータリーの友、ガバナー月信をできるだけお読みいただく事が、一番大事なことであります。

当然、地域社会の動きをクラブの皆様方と協議されるということもあると思います。例会を通じて、クラブの活動を通じて、会員の皆様方との対話とコミュニケーションを交わしていただきたいと思います。

また、グループの会長・幹事会では、色々ご協議いただき、又、地区から、このようなテーマが、このような行事がある、ということの案内に対するそれぞれのクラブ単位での対応の意見交換や、ご討議を行い、グループ内のコミュニケーションを増やしていただきたいと思います。

地区レベルでは地区委員長の方々とガバナー補佐との合同会議も年に6回ほど予定しており、地区チーム内でのコミュニケーションを交わしていく予定です。

まずは、クラブ内、グループ内、そして地区内でのコミュニケーションを確実にこなして頂きたいと言う事がガバナーからのお願いでございます。

次にガバナー公式訪問です。

クラブからクラブ活動計画書をご提供いただき、クラブ活動計画書とガバナー補佐からの報告をベースにして準備を進めて訪問をさせていただきます。訪問の折には例会の前にクラブとの個別の懇談会を予定させていただきます。そして例会の中で20分程度の卓話をさせていただきます。クラブの会員の方々に国際ロータリーの現況をご報告するというのが中心になりますが、地区ロータリーの状況、或いは各クラブの背景となります地域社会の話題等を取り上げて、行く予定でございます。その後クラブ協議会でクラブの活動の様子を発表していただくという、例年のやり方で公式訪問を計画しております。特にクラブを、元気にということが諸岡ガバナーのテーマですので、本当にクラブが元気に活動しているのかということ、見させて頂き、その辺について質問させていただきます。最後にロータリー情報研修会、インターシティ・ミーティングについてです。

ロータリー情報研修会は、上期中にガバナー補佐に主催をして頂いて、クラブの活性化について、元気なクラブになるためには、どうしたらいいんだろうということテーマとして議論していただきたいと思います。研修会のやり方は、すでにガバナー補佐に提示してあり、その一つの形として、基調講演では、地区の中のガバナー経験者や、いろんな形でロータリーに貢献のある方々を講師にお呼びし、お話を聞いてその上で共通の各クラブを元気にする話題を皆さん方とともに議論して頂く、又は基調講演ではなくて、パネルディスカッションや、円卓ディスカッション等で、クラブの現状、そしてまた元気になるための方策、或いはどういう物の考え方をして行ったらいいのかというようなことについて共同で討議をいただき、ヒントを得ていただきたいと思います。と考えております。

このプログラムの内容につきましては、地区委員会がいろいろお手伝いをさせていただきますので、

ARCとして

この度、拝命致しました2830地区2017-18年度ガバナー 十和田ロータリークラブ所属の佐々木千佳子です。若輩の私が、この様な大きな役を受け、身の引き締まる思いです。でも、お引き受けした以上は何とか務めを果たして参りたいと思います。

私がこの役についたことにより、女性会員にとってロータリーの道が少しでも広がりを持っていくことに期待を致します。女性会員、若い会員を増強する事が全世界で求められております。

元氣にご活躍されてる女性が多い中、未だに女性会員の入会が少ないのは何故でしょう。女性会員の存在がクラブにとってどのように変化をもたらし、どのように効果を生むのか等 皆様と情報を提供、共有しながらクラブの強化と活性化を進める事が出来るか勉強をしてみたいと思います。女性の感性、存在が若い会員の入会に繋がる可能性を持っています。

入会間もない会員は不安を持って例会に参加しています。その不安を楽しさに変える能力を女性会員は持っています。クラブの緩和剤となります。

この様な事をお伝えしながら、ARCとして皆様にお手伝い出来ませう事を重責ですが楽しみに変えて、努めて参ります。

お誘いを待っている女性がお近くに必ずいます。楽しいロータリー、素晴らしいロータリーを皆様と一緒に実践して行きましょう。宜しくお願ひ申し上げます。

第1地域ロータリーコーディネーター 補佐 佐々木 千佳子

ガバナー事務所よりアンケート依頼

台風の被災の影響が予想以上に大きく広がっています。被災に遭われましたクラブ及び会員の皆様には心よりお見舞い申し上げます。各クラブ会員及び会員事業所の被災状況をガバナー補佐に調査していただいております。今回は支援したいご連絡をいただいた会員さんもおりますので、アンケートを添付いたしました。お忙しいことと存じますが、1日も早い情報が救済になることと思いますので、報告をよろしくお願ひいたします。

台風15号による

県内ロータリークラブ支援調査
被災地支援の希望について
ボランティア・物資支援・金銭支援

まずはガバナー補佐と、どういう企画をしていったらよいかということについて会員の皆様方と一緒に考えていただきたいと思います。

次に下半期にインターシティ・ミーティングを企画していただき、ガバナー補佐が主催者となって、特に今回はロータリーを地域社会でもっと知ってもらいたい、或いは地域の方々にロータリーというものはどういう活動をしているのかということ具体的 に、できれば行動で示して頂きたいと思っております。IMでは戸外に出て具体的に行動するための準備を議論していただく機会ということを考えて、具体的には5月中の気候が良くなる時季に、ちょうど7月からは東京オリンピック・パラリンピックが始まるという前段階になる頃です。そのタイミングをみて、グループの中で皆様方が参加しやすい場所と時を選んでいただきたいと思います。外へ出て「行動するロータリー」をアピールするような形のロータリーデーを是非設けていただきたいと思いますというのがガバナーからのお願いでございます。

次に、当地区の年間目標についてですが、地区3,000名会員、300名女性会員、30名会員未満のクラブの基盤強化、3クラブの新設と数値で地区目標として掲げさせていただきました。現在、当地区の会員数は約2,800から2,900名を行ったり来たりしている状況で有ります。何とか、最終的には3,000名会員を安定的に確保できるレベルを目指していきたく、これは中期的な目標として、考えております。3,000名の会員 に対して、1割の300名ほどは女性会員にしていきたくと思います。また、現在、約200名の女性会員が居りますが、何とか300名にしていきたい。このことは、クラブの中に多様性を作っていくということにも繋がります。

まだ、女性会員のおいでにならないクラブが約20クラブ程度ございます。もちろん女性会員がいる、いない というのはそのクラブの会員基盤の設定の仕方、このことは、問題ではありませんが、女性がいた方が多様性のあるクラブの展開ができるということが国際ロータリーでは推奨されております。これから若い人が少なくなって来る、ということになりますと、経験豊かな女性会員がいらっしやる事が様々な意味で 地域奉仕活動に対して大きな新しい 戦力になるだろうと思います。ビジネス関係でもクラブの職業分類表をご覧になりながら、又、職業分類表の中で、地区内で、或いはクラブのテリトリーの中で新しい 職業分類に取り入れるべき職業というのが多分出て来ているのではないのかと思います。そのような事も含めまして新しい 職業の方々は是非クラブ会員として増強していくように、お計らいをしていただきたいと思います。そしてクラブの純増で是非とも1名は確保していただき、それが、次のロータリー賞に繋がってまいります。

毎年RI会長賞というのが設けられております。ロータリーは世界を繋ぐということでマローニー会長の方針、方向性、そしてロータリークラブ対象のロータリー賞、今年もロータリークラブ対象の他にローターアクトクラブ 対象、インターアクトクラブ対象のロータリー賞が、設けられております。そんな意味でまずは会員を増強しながら人々を繋ぐ。そして行動する。そういうカテゴリの中の課題を少なくとも5項目達成していただき、これを申告していただいて達成するとロータリークラブ対象のロータリー賞に繋がるということでもあります。これは申告しなければなりませんので、申告するためにはロータリークラブセントラルというところにクラブの数値目標をあらかじめインプットしていただく作業が必要になります。その意味でも是非ともクラブの会員基盤、或いはクラブの活動の成果を高めていくために計画の入り口として設定していただき、これが、先々のクラブの長期戦略計画に繋がる発想の仕方、プロセスになるということです。

その次に推奨事項で、MY ROTARYに対する登録をお願いしたいと思います。これは会員の方々が登録をして利用して頂くと、ロータリークラブに対するいろんな情報が得られます。クラブの抱えている現実、そして会員数が過去数年間に わたってどんな風に変化したかというクラブレベルのデータ、そのようなものを得ることが出来ます。そうすることによって会員の動向をつかむことが出来ますので、MY ROTARYに対する会員の皆様方の登録・認証をお願いいたします。

さらにクラブにはクラブ会員に対する 広報と同時に、地域社会の方々にロータリーの活動の内容をお伝えするホームページについても、メンテナンスをして行き、更新をすることが求められます。これについての相談がございましたら地区委員会の広報・公共イメージ向上委員会で、お手伝いすることが出来ます。

それから財団と、米山に関する寄付のお願いでございます。

ロータリーの寄付金、特に財団の資金は、3年経ちますとその半分が地区に戻って参ります。それが地区補助金であり、グローバル補助金の原資になる仕組みが有ります。それが、地区の、クラブの奉仕事業に使える補助金となって返ってまいります。そしてさらに、寄付は第二の奉仕であるとも言われます。奉仕活動の意味を十分にご理解いただいて、これはお気持ちの範囲で、少額でも結構ですので、進んでのご寄付をお願いいたします。寄付についての認識を明確にお持ちいただければと思っております。特にロータリー財団の活動資金として、年次基金というものがございます。

年次基金については ロータリー財団委員会が強調しておりますが、ここ数年日本のロータリークラブが全体でクラブから年次基金に対する寄付がなかった、ということを一掃しております。

日本の一國で『寄付ゼロなし』は画期的なことです。年次寄付は上半期中にお済ませいただけるように会長や、ロータリー財団委員会の方々が中心になりまして、早めに年次寄付をお済ませいただくようお願いいたします。また、ロータリーカードについて説明させていただきます。櫻木パストガバナーが第1ゾーンのロータリーカード推進コーディネーターという役割についております。各クラブの費用の支払い、或いは地区の委員会の費用等につきまして、このカードを活用していただきますとその0.3%がロータリーのポリオに資金が回ります。ロータリーでは国際ロータリーとロータリー財団の二つが、ロータリーを動かしております。お金の方はロータリー財団の管理委員会が中心になって運用したり資金を集約したり或いは財団の活動をPRしております。

ロータリー財団が国際ロータリーを支えている という言い方をしても言い過ぎではないと思っておりますが、私どもロータリアン一人ひとりが財団を理解するということが大事なことです。それが私ども

ガバナー公式訪問について

日時：2019年10月8日（火）
会場：竹りん
茂原市八千代3-13-9
TEL 0475-24-5522

活動計画書持参

※名札持参・揃いの制服、新ネクタイ（水色）着用

※送迎バスなし 各自現地集合

参加者名（敬称略・順不同）
星野、堀本、板倉（孝）、加藤、西岡、大越、斉藤（敏）、斉藤（幸）
清宮（建）、関谷、四之宮、高野、高山、矢部、吉原、長谷川、清宮（満）
17名

産業文化祭バザーについて

開催日：2019年10月19日（土）
9：30 開会
※雨天 翌日20日（日）順延
開催場所：大網白里市運動広場
（南飯塚477）

バザー商品のご協力をお願い致します。

提供品〆切 10月2日（水）

会員集合時間 現地8時集合



の奉仕活動を支え、或いは奉仕活動の大きな目標を示してくれる、ということをご理解していただきたいと思います。

色々とお願い事ばかりになりましたけれども、ロータリー活動をしていくためには、まずクラブが元気になって行かなければいけないということです。自分たちのクラブについて、果たして今、現在の状態と、これから数年経つとどうなるのかということです。

特に会員が30名以下のクラブでは、現在は大変元気にやっている、というクラブでも、数年経って会員増強がなされなければ、平均年齢がそのまま上がって行くということに成りますから、クラブの活性化は明らかに落ちて行く、ということに成ります。今から会員増強していくとすれば、どういふ新しい会員を選んでいったらよいのか？ということクラブの中で議論する。それがクラブの戦略計画を立てるといふことにつながっていきます。

それと、同時にクラブは地域社会の中で様々な奉仕活動をされていると思います。その奉仕活動が時代の変化に対応して、新たに生まれてくる地域社会のニーズに答えているかどうか？

これについて踏み込んで議論していただき、それを、クラブ全体で議論していき、全員参加でクラブの計画について議論して、そして1年経ったところで次年度はどうしようか、ということの年々の積み上げをしていくと戦略計画が具体化していきます。

クラブを元気にする為の、クラブの日々の運営、そして一年間の活動目標、そして数年後を視野に入れた戦略計画という形をクラブの中で一つずつ取り上げながら、確実に積み上げていくと、そのクラブは地域社会では、なくてはならないロータリークラブになり、又、地区内にあっては、有力なクラブになるのではないのでしょうか。

ロータリーの未来を形づくるのはクラブです。刻一刻と変化する現実に対応するために、ロータリーはクラブに力を注ぎ続けなければなりません。

地域に根ざすクラブは柔軟性と刷新性をもって、戦略計画を立て、地域の可能性を求めて誇りを取り戻さなければなりません。

地区ロータリーを元気にするために、地区3,000名会員、300名女性会員、30名会員未満のクラブの基盤強化、3クラブの新設を目指します。

そして「ロータリーから千葉を元気に！」していきましょう。

以上で、ガバナー補佐としての事前訪問卓話とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

セミナー報告

四之宮 由己 会員

ロータリー財団セミナーに参加して

去る、9月1日地区R財団セミナーが開催されまして、矢部会長と二人で参加して参りました。今回のセミナーで諸岡ガバナーは、ロータリーの目指していることは「世界の平和」であり、ロータリー財団の目的は「世界で良い事をしよう」です。と話されておりました。この「世界で良い事をしよう」を提唱した人は、アメリカペンシルバニア州、アーチ・C・克蘭フ氏です。良い事をするためには資金が必要なので、1916年～17年度のロータリークラブ国際連合会会長だったアーチ・C・克蘭フ氏が「世界で良い事をしよう」を提案しました。これが現在のロータリー財団の基になりました。皆さんアーチ・C・克蘭フ氏という名前を是非覚えて下さい。「ロータリー財団の父」と言われている人です。

財団ハンドブックも年々内容も少しだけ変えてありますが、昨年度のセミナーと少し違っていました点を先に申し上げます

①昨年度迄の地区補助金の額は最高で30万円でしたが今年度と次年度の2年間は最高額60万円までと変わって居ります。どこかで繰越金の余剰金が出たとの事でした。

②前年度ガバナー橋岡さんが来訪時に何度も皆さんにお願いして居りましたロータリーカード（クレジットカード）を作成し下さいとの事が実現されまして、全国34地区中第3位になりまして、あと2クラブの協力者が増えますと第2位になるとの事でした。

この事は皆さんがロータリーカードを作り、例えば1万円の買い物すれば0.3%（30円）がロータリーに入金されます。

③ポリオ撲滅運動（活動）の呼び名が「ポリオ根絶」という言い方に変えて下さいとのお話でした。

④先日配布されました「ポリオ根絶運動」のバッジをこのセミナーに出席の方は胸に付けて来て下さい。との事でしたので二人共胸に付けて参加しました。

⑤前回のセミナーでお渡ししたR財団ハンドブックを持参して下さいと通知がありましたが、このハンドブックは、内容が少しずつ変わって居りますが、毎年1冊だけ各クラブに配付します。と以上5点が前年度と変わりました。

今年度も地区R財団寄附目標額は

●会員1人当たり 150ドル＝会員数（当地区は毎年124～126ドル前後 関東地区で最下位）
ちなみに 米山記念奨学会の地区目標額は

●会員1人当たり 15,000円×会員数＝地区米山奨学生受入数

以前にもお話した事がありますが、このR財団の寄附金の50%は3年後にDDF（地区活動資金）、残り50%はWF（国際財団活動資金）に分けられます。

国際財団活動資金は、グローバル補助金に対する上乘せや、その他財団プログラムの資金等に活用されます。皆様からの寄付で「世界で良い事」が出来るのです。出費多端の折ではございますが、R財団と米山への寄付を宜しくお願いします。幸いにして当クラブでは、3名の方が毎年決まって一口10万円ずつを寄付して下さいとお願いして、その点委員長は大いに助かっております。その他、スリランカへの食料支援金を集金に参りますのでこちらも宜しくお願いします。